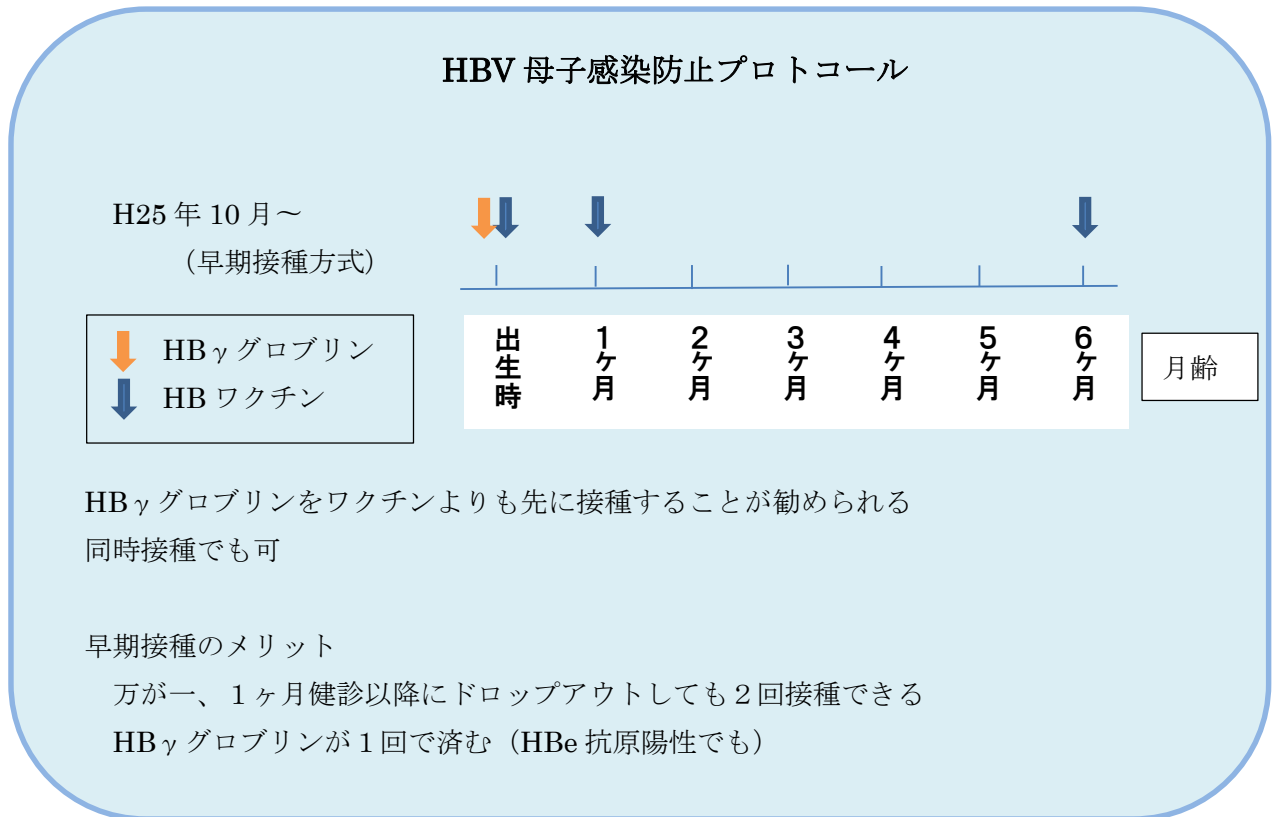


母子感染防止 B 型肝炎ワクチン接種の変更について

B型肝炎母子感染防止の接種方法（平成 25 年 10 月 18 日から早期接種方式へ変更）



当院でも平成 25 年 12 月から早期接種方法に変更しました。

母子感染防止の HB γ グロブリン、B 型肝炎ワクチン接種、抗原・抗体検査はすべて保険診療です。

出生時は入院中に、1ヶ月時は1ヶ月健診で接種します。

- 出生時の HB γ グロブリンと B 型肝炎ワクチン（1回目）は同時接種しています。
- 1ヶ月健診時に B 型肝炎ワクチン（2回目）を接種します。
- 生後 6ヶ月時に B 型肝炎ワクチン（3回目）を接種します。
- 生後 9か月時、2歳時、3歳時に HBs 抗原、HBs 抗体検査をします。

ワクチン接種前の採血はなくなりました。（HBs 抗原陽性で接種しても問題ありません）

3回ワクチン接種後の HBs 抗体が 10 以上に上がっていないときは、B 型肝炎ワクチンを再接種してください。

HBs 抗原が陽性の時はキャリアですので、定期フォローをします。

原則、すべて小児科外来で接種します。ただし、予防接種センターで他のワクチンと同時接種する場合は、相談してください。